

# 名古屋大学国際交流グループ

Nagoya University  
Global Network



2011年度  
活動報告書

名古屋大学  
国際交流グループ  
2011年度  
活動報告書



## 目次

1. 名古屋大学国際交流グループ紹介	1
2. スモールワールド・コーヒーアワー	3
3. ヘルプデスク	15
4. ランゲージシャワー	23
5. 留学のとびら	33
6. 異文化交流サークル ACE	45
7. NUFSA 名古屋大学留学生会	57
8. 名古屋大学国際学生フォーラム IF@N	63

## 名古屋大学国際交流グループ紹介

名古屋大学ではキャンパスの国際交流を活発にするために  
学生が主体となって様々な交流活動を行っています。  
そんな活動を一緒にサポートしてくれる仲間を募集しています。  
参加をお待ちしています！

### ■ スモールワールド・コーヒーアワー (Small World Coffee Hour)

コーヒーやお茶を片手にリラックスした雰囲気の中で留学生と一般学生が出会い、文化や学生生活に関することなどを気軽に話し合える国際交流の場を毎月(学期中)に開催しています。楽しい文化交流の場を一緒に作ってくれる仲間を募集中。

(問合せ) 留学生センター アドバイジング・カウンセリング部門 (IB 電子情報館西棟 7 階 739 号室)

E-mail: isa@ecis.nagoya-u.ac.jp

URL: <http://www.isa.provost.nagoya-u.ac.jp/>

### ■ ヘルプデスク (Help Desk)

各学期の最初の 3 週間、留学生センター1 階のラウンジに設置するヘルプデスクを中心とした留学生のサポート活動を行なっています。新入留学生が日本の生活や名大での学生生活をスムーズに始められるよう、留学生が気軽に立ち寄ることのできる場を共に提供する学生ボランティアを募集しています。

(問合せ) 留学生センター1 階短期留学部門 (NUPACE オフィス)

E-mail: volunteerdesk@ecis.nagoya-u.ac.jp

### ■ ランゲージシャワー (Language Shower)

何年も学習している外国語なのに自身を持って使えない、第 2、第 3 の外国語を使いたい、そんな要望に応えるためのプログラムです。間違いを恐れずに話し、聞き、楽しみましょう。プログラムを企画運営する学生ボランティア募集中。

(問合せ) 留学生センター アドバイジング・カウンセリング部門 (留学生センター204 号室)

E-mail: adv@ecis.nagoya-u.ac.jp

## ■ 留学のとびら (Gateway to Overseas Studies)

留学のとびらは、留学を経験した学生やこれから留学をしたい名大生による、将来の名大留学候補生をサポートする団体です。学生ならではの視点から学内の留学イベントの企画・実施を通じて留学の魅力を紹介します。また、活動を通じてプロジェクトマネジメント能力やファシリテーション能力もアップすることができます。ぜひ一緒に名大留学を盛り上げましょう！

(問合せ) 留学生センター海外留学室

E-mail: [abroad@ecis.nagoya-u.ac.jp](mailto:abroad@ecis.nagoya-u.ac.jp)

## ■ 異文化交流サークル ACE

### (Action Group for Cross-Cultural Exchange)

ACEでは、“交流・架け橋・ボランティア”の精神で活動を行っています。ACEの最も重要な活動は毎年4月と10月に名古屋大学に来る留学生の受け入れ活動をする事です。その他にも一年を通じて留学生と一般学生が交流するイベントを企画しています。いつでも誰でも大歓迎です。参加したいと思った時がスタートです。

(問合せ) URL: <http://afsa.ecis.nagoya-u.ac.jp/~ace/>

## ■ NUFSA 名古屋大学留学生会

### (Nagoya University Foreign Students Association)

名古屋大学の留学生や一般学生など多様なメンバーで構成されている留学生会で、名古屋大学で学ぶ留学生が楽しく留学生活を送れるようサポートしたり、国際交流イベントを開催しています。参加をお待ちしています！

(問合せ) E-mail: [nufsa@googlegroups.com](mailto:nufsa@googlegroups.com)

## ■ 名古屋大学国際学生フォーラム IF@N

### (The International Forum at Nagoya University)

IF@N(名古屋大学国際学生フォーラム)は、名古屋大学に通う学生が、英語・日本語で自由に、活発に討議を行い、国際理解・相互理解を深めていくために組織された国際学生フォーラムです。実行委員は学生フォーラムで行われるディスカッションのテーマ設定、広報、フォーラム当日の運営、報告書作成など全ての面で携わり、一から学生フォーラムを作っていきます。

(問合せ) 留学生センター アドバイジング・カウンセリング部門 (IB 電子情報館西棟 7 階 739 号室)

E-mail: [isa@ecis.nagoya-u.ac.jp](mailto:isa@ecis.nagoya-u.ac.jp)

スモールワールド・コーヒーアワー

Small World Coffee Hour

# Small World Coffee Hour

## 2011 年度 活動報告

総合文責：林佑美枝

### 1 団体紹介

文責：林佑美枝

Small World Coffee Hour はイベント「Small World Coffee Hour」(以下、コーヒーアワーと省略)を企画・運営する団体である。外国人留学生や日本人学生に新しいつながりを作る場を提供することを目的として、2005 年後期に発足した。以後、アンケートを実施してイベント内容に工夫を凝らし、活動記録のテンプレートを作成して組織運営を円滑化することで、イベントだけでなく組織としての規模も大きくなってきた。2011 年度は、イベント内容をより一層充実させることに重点を置いて活動してきた。

#### 1.1 理念

外国人留学生や日本人学生をはじめとする、さまざまな文化的背景を持つ人たちに、学内での交流の場を提供することである。本年度は「新生 CoffeeHour：一体感&挑戦」という目標を掲げ、活動を行った。

#### 1.2 特徴

- ・有志の学生が中心となって活動を行っている。
- ・誰でも参加可能なオープンなイベントを、各学期 3 回、月に 1 度のペースで企画・運営している。参加に際し、事前予約や登録は不必要である。
- ・イベントごとに、参加者同士が話すきっかけとなるような、日本や世界についてのテーマを設定している。
- ・参加者にリラックスした雰囲気の中でアクティビティやゲームを楽しんでもらえるよう、コーヒーとお菓子を提供している。

#### 1.3 メンバー構成

石黒孝知 (工学研究科 1 年)

喜田豪 (工学研究科 1 年)

林佑美枝 (文学部 4 年)

矢地祐輔 (教育学部 4 年)

生田真理 (教育学部 3 年)

李スリ (経済学部 3 年)

伊藤しおり (教育学部 3 年)

伊藤舜 (工学部 3 年)

江尻明日香 (教育学部 3 年)

芹澤裕子 (工学部 3 年)

服部景 (理学部 3 年)

後藤菜々 (教育学部 2 年)

高橋美希（教育学部 2 年）

長江祐樹（工学部 2 年）

松本尚己（工学部 2 年）

Frank Ross Galka（NUPACE）

他 1 名

## 2 活動紹介

文責：林佑美枝

### 2.1 準備について

#### 【ミーティング】

毎月 2~3 回の頻度で行い、企画シートをもとにして、その月のコーヒーアワーのテーマや内容、役割分担、会場のレイアウトなどを決めている。各ミーティングでは議事録を作成し、メーリングリストに流して情報を共有している。また、議事録やポスター、資料、写真などの保管場所として、名古屋大学 SNS 「MINT」のコミュニティファイルを活用している。

#### 【広報活動】

半期計画のポスターと各回のポスターを、各学部および研究科・留学生センター・生協・食堂などに掲示した。また、留学生相談室から学内の留学生担当者に依頼し、イベント告知のメールを流してもらった。

### 2.2 コーヒーアワーについて

#### 【当日の動き】

15:30~ 留学生相談室にてコーヒーを準備

16:00~ 留学生センターで企画シートに従い会場設営開始

16:15~ 受付開始

16:30~ コーヒーアワー開始（すぐにアクティビティまたはゲーム開始）  
途中、適宜 Free Conversation Time を設定

18:00~ 終了・片づけ

18:30~ 振り返りミーティング

#### 【本年度の工夫点】

- ・イベントの内容に広がりを持たせる

→さまざまなテーマを扱う

→留学生センター以外の施設をイベント会場とする

- ・「つながり作り」のきっかけになるようなテーマ設定をする

→単にゲームを行うのではなく、交流型のアクティビティを設定し、そこから会話を広げてもらえるようにする

### 3 年間行事記録

#### 【4月のコーヒーアワー】

文責：矢地祐輔

#### 「自己紹介ビンゴゲーム/Self Introduction Bingo Game」

- ・日時・場所：4月28日（木）16:30~18:00・留学生センター1階ラウンジ
- ・参加人数：約80人
- ・イベント概要

新学期最初のコーヒーアワーの恒例となっている自己紹介ビンゴゲームを今回も実施した。ビンゴシートの各マスには質問が書いてあり、参加者は最初に自分の答えを書き込む。その後、他の参加者に質問をして、自分の答えと同じ回答を得られればサインをもらってマスを埋め、ビンゴを作るというルールである。ビンゴシートは、5×5の25マスで表面に日本語、裏面に英語を印刷し、日本語に自信がなくても取り組めるように工夫をした。「誕生日は何月?」、「犬と猫、どちらが好き?」という一般的なものから、「納豆は好き?」といった日本食や日本文化に関する質問も用意した。初対面の人同士でも話が盛り上がりようにバラエティに富みながらも、かつプライベートに入り込みすぎないように、質問の内容・バランスを考慮した。2つ以上のビンゴが完成した人には、先着順で景品をプレゼントした。また、今後の参考にするためにビンゴシートの下部にアンケートを付け、所属や学年、コーヒーアワーに来たきっかけなどを調査した。

#### ・実施した感想

新学期最初のコーヒーアワーということもあり、多くの参加者があり盛り上がった。参加者がおしゃべりをしている姿が常に見られ、多くの人が打ち解けている感じが感じられた。参加者の人数や様子から、イベントの目的は十分達成できたと言える。

#### ・気づいた点(改善点など)

何度も参加してくれている人からは、また自己紹介ビンゴか、という声も聞かれた。自己紹介ビンゴは、新学期のアイスブレイキングゲームとして有効だが、新しい企画や更なる工夫が必要だと感じた。



## 【5月のコーヒアワー】

文責：高橋美希

### 「トランプ大会」

- ・日時・場所：5月27日（金）16:30~18:00・留学生センター1階ラウンジ
- ・参加人数：約80人
- ・イベント概要

トランプの神経衰弱を2人1組になり、6つほどのグループに分かれて行なった。2人1組で、且つグループでゲームを行うことにしたのは、初めて出会う人とコミュニケーションを互いにとることができるようにするためであり、トランプ大会でゲームを通して仲を深め、楽しんでもらうことが目的である。

- ・実施した感想

参加者が予想の60人を超える大盛況の5月イベントとなった。スタッフ全員も協力して仕事にあたることができ、またコーヒアワーの内容としてトランプ大会を行なうのは初めての試みであり、今年度の一つの目標であった「挑戦」を形にできた。それぞれのグループでゲームを通して楽しんでいたり、仲間のペアで話が盛り上がっていたりという様子が見られて良かった。トランプ大会が終わった後のフリートークも、ゲームを通じて打ち解けたのか、人数が多かったからなのか、終始賑やかな様子で非常に良いコーヒアワーであった。

- ・気づいたこと(改善点など)

ゲーム形式にしてしまうと、途中参加の方がゲームや会話に入りづらい状況となってしまいうため、スタッフがある程度ついていけるなど工夫が必要である。また、トランプのルール説明を全体に上手く説明できるように、スタッフをグループの担当をあらかじめ1人ずつ決めたり、ルール説明を日本語英語表記のものを用意したりする必要があった。また全回を通じて言えることであるが、人数を事前に把握することが難しいので、予想以上に多くの参加者が来て頂いた場合でも、対応できるように想定して準備すべきである。



## 【名大祭フリーマーケット】

文責：石黒孝知

- ・日時・場所：6月4日（土）、5日（日）・名古屋大学文学部棟前
- ・目的：リユース、活動資金集め
- ・概要

名大祭において、CoffeeHour、HELPDESK、Language Shower、留学のとびらの4つの国際交流団体が合同でフリーマーケットを行った。

- ・売上金額：¥38,820
- ・実施した感想

不用品の回収から、値付け、販売まで4団体がとても綿密に協力して進めることができた。そして、この活動後、団体を越えたスタッフの人材交流ができ、活動資金を得るだけでなく非常に有意義な機会となった。

- ・気づいた点(改善点など)

毎年、名大祭の実施日程が6月上旬で、とても暑く、熱中症になりやすいと感じた。帽子、水分補給が欠かせないを考える。



## 【6月のコーヒーアワー】

文責：服部景

「Coffee Hour 縁日☆」

- ・日時・場所：6月30日（木）16:30~18:00・留学生センター1階ラウンジ
- ・参加人数：約70人
- ・イベント概要

日本の夏祭りの雰囲気を再現した。ヨーヨーつりやたません、折り紙のコーナーを設けたり、あやとりを体験してもらったりすることで、日本文化に触れながら交流できるような場を目指した。

- ・実施した感想

参加者それぞれのペースで楽しんでいるようだった。みんなで一斉に一つの

ことを行うのではなく、個々のブースを設けたことで、一人一人が楽しめたのではないかと思う。特にたませんのコーナーは好評で、材料を刻んだり熱を加えたりする必要のない日本の庶民的な食べ物を提供するのはいいいアイデアだったと思う。

・気づいた点(改善点など)

ヨーヨーのゴムの部分の結び方が工夫できておらず、すぐにほどけてしまったりすることが多かった。事前にメンバーの間で一度予行演習をできたら良かったかと思う。



【10月のコーヒーアワー】

文責:後藤菜々

「自己紹介ビンゴ」

- ・日時・場所：10月27日（木）16:30~18:00・留学生センター1階ラウンジ
- ・参加人数：約60人
- ・イベント概要

自己紹介ビンゴには、ビンゴシートに数字ではなく自分への簡単な質問が書いてある。参加者は質問に答えたあと、自分と同じ答えの人を探し、見つけたらビンゴを埋めることができる。ビンゴを埋めていくことを通して、参加者同士が交流を深めることが目的である。

- ・実施した感想

参加者は誰かに質問をしないとビンゴを埋めることができないので、初対面の人同士が話しかける良いきっかけとなったと思う。どの参加者も会話が弾んでいる様子であり、イベント終了時まで多くの人が交流を楽しんでいた。今後も参加者同士の交流のきっかけとなるようなテーマを設定していきたい。

- ・気づいた点(改善点など)

会場的一部分に人が密集してしまっていたので、会場のレイアウトを考えるべきであった。また、ルールを理解しきれていない参加者がいたので、より詳しく、分かりやすい説明を心がける必要がある。



【11月のコーヒーアワー】

文責：伊藤しおり

「紅葉狩り&しおり作り」

- ・日時・場所： 11月24日（木）16:30~18:00・留学生センター1階ラウンジ、博物館野外観察園（以下、野外観察館と省略）

- ・イベント概要

最初に、野外観察園に紅葉している葉を取りに行った。その後、取ってきた葉の中からいくつかの葉を選び、千代紙やペンで台紙をデコレーションし、ラミネートしてしおりを製作した。

- ・参加人数：約40人

- ・実施した感想

留学生の方にとって、しおり作りは初めてで興味を持ってくれる方が多かった。しおり作りだけでなく葉を取りに行けたのも良かった。寒い中、紅葉の葉を取りに行く際も皆でまとまって行動できた。会場の机の配置を、円のようにした為、参加者が顔を見合せながら作業することになり、必然的に温かい雰

困気になった。又、作業の際に使用するハサミやのり・台紙などの貸し借りを近くの人とお互いにしあえる姿が多くみられて、初めて会った方でも参加者同士、よいコミュニケーションがとれていた。しおり作りに挑戦した後、coffee やスナックを囲んでいて、時間の配分のバランスが良かった。

・気づいた点(改善点など)

しおりづくり・イベントの進行をスタッフが把握しきれていなかった。事前ミーティング、役割などを明確にすべきだった。しおり作りは初めての方が多かったので作り方などを表などに示すとよかった。また、もっとより多くの人に告知できればよかった。さらには、各自が作ったしおりを展覧会のように、皆で観賞しあえるとより良かった。

**SMALL WORLD COFFEE HOUR**  
THEME : JAPANESE AUTUMN  
~LET'S MAKE BOOKMARKS WITH COLORED LEAVES~  
スモールワールドコーヒーアワー  
テーマ: 日本の秋 紅葉でしおりを作りましょう!  
Do you think the world is small?  
Our answer is "YES"  
世界中の学生たちが  
Coffee Hourに集まります!!  
2011. 11. 24. THU  
16:30-18:00  
ECIS IF LOBBY  
留学生センター1階  
EVERYBODY IS WELCOME!  
どなたも大歓迎です!  
ORGANIZED BY :  
SMALL WORLD  
COFFEE HOUR  
Contact info:  
留学生センターアドバイジング&カウンセリング部門  
ECIS Advising & Counseling Services  
email : isa@ecis.nagoya-u.ac.jp  
Sugar, Naturally



【12月のコーヒーアワー】

文責：芹澤裕子

「日本の習字を体験しよう！」

- ・日時・場所：12月15日（木）16:30～18:00・留学生センター1階ラウンジ
- ・イベント概要

参加者の皆さんに習字をしてもらい、自分の作品で気に入った作品をヒモとクリップを用いて展示してもらおう。付箋紙を一人につき3枚渡し、よいと思った作品に投票してもらおう。その中から得票数が最も多い上位3名を選出し、景品を渡す。

- ・参加人数：約 50 人
- ・実施した感想

多くの参加者が積極的に習字に取り組んでくれたので楽しんでもらえたと思う。習字が初めてだというには、周りの参加者が教えてあげたりしてとてもよい交流になったと思う。最後の投票もそれぞれの個性のある作品がたくさん展示されたので、おもしろかった。

- ・気づいた点(改善点など)

作品を作った後にみんなで鑑賞したりする機会を設けたことで、最後まで盛り上がり、全体の流れのまとまりもよかったと思う。11月のコーヒーアワーでは音楽がかかっていなくて少し寂しい印象を受けたが、今回は音楽があったため雰囲気もよかった。音楽は雰囲気作りに必要だと思った。



Small World  
Coffee Hour  
スモールワールドコーヒーアワー  
Theme: Japanese Calligraphy - Let's try traditional calligraphy!  
Let's Gather and Have a Good Time!  
参加無料、どなたも大歓迎です! コーヒー飲みながら国際交流しませんか。  
2011. 12. 15. Thu 16:30~18:00  
FCIS 1st Floor Lobby 留学生センター 1階ロビー  
Organized by:  
Small World Coffee Hour  
Contact info:  
留学生センター アドバイジング&カウンセリング部門  
FCIS Advising & Counseling Services Email: [fcis@nagoya-u.ac.jp](mailto:fcis@nagoya-u.ac.jp)

日本の伝統的な文字の書き方を体験しよう!

習字

since 2003  
Nagoya University



#### 4 コーヒーアワーで大切にしていること・来年度への抱負

- 今年度のコーヒーアワーは新しい仲間と、新しい試みが多くできました。そして今後、留学生の増加が見込まれることから、こういった活動の重要性がさらに増してくると思います。これからも、イベントを通して少しずつ着実に交流の輪を広げていきたい。(石黒)
- コーヒーアワーを企画・運営することで、留学生を含むたくさんの人々と出会い、たくさんのことを学ぶことができました。また、参加者の一人としてイベントを楽しむこともできました。これからもコーヒーアワーが、たくさんの人々を結ぶ楽しい場として、さらに発展していくことを願っています。(矢地)
- スタッフも参加者も毎回異なる中でのイベントの企画・運営を通して、非常に多くの人と交流することができました。その中で、参加者は一人一人異なる希望や目的を持ってコーヒーアワーに来てくれていることを知り、毎回その多様性に驚くばかりでした。これからも、コーヒーアワーがその「違い」に寄り添えるような場であればいいなと思っています。(林)
- 自分がなかなか時間を上手に使えず、活動に参加できないなど、みんなに迷惑をかけてしまいました。私が活動の中で素晴らしいと感じたのは、みなさんの時間の有効的な使い方、リーダーシップの取り方です。少ない時間で、どんどんアイデアを出し、リーダーが上手くまとめ、企画を作っていく。私も、来期から積極的に参加し、きてくれたみんなが楽しんでくれる企画を考案していきたいと思います。(生田)
- まだ入ったばかりですが、スタッフになる前から参加していたコーヒーアワーの活動にスタッフとして参加でき嬉しく思います。誰でも、自由に国際交流ができる場というのは、とても魅力的だと思うので、これからも和気あいあいとしたコーヒーアワーであれたらと思います。より多くの人に活動を知ってもらい、参加してもらえるよう頑張りたいです。(伊藤し)
- ぼくは部活をやりながら、コーヒーアワーに参加しました。忙しくて活動できないことがほとんどでしたが、メンバーはそのことを理解してくれて本当に嬉しかったです。どんな人でも受け入れる多様性はコーヒーアワーの魅力だと思います。(伊藤舜)
- まだ入ったばかりなので分からない事だらけですが、たくさんの人と交流することができ、スタッフになってよかったなと思います。これからは企画などにも関わっていけるように頑張りたいです。(芹澤)
- 4月から活動に参加していますが、スタッフを含めたコーヒーアワーの温かい雰囲気大好きです。これからもたくさんの人に楽しい国際交流の場を提供できるよう、積極的に活動に参加していきたいです！(後藤)

- 初めて活動に参加しましたが、コーヒーアワーは国や年齢関係なく人と人が出会える素敵な場であると実感しました^^楽しかったです！出逢いの機会作りをこれからも携われたらと思っています！（高橋）
- 個人的にはイベント当日になかなか参加できなかったのですが、来年度こそは、ミーティング・本番ともに力になれたらな、と思います。（長江）

ヘルプデスク

Help Desk

Help Desk（以下、ヘルプデスクと記載）とは、名古屋大学の留学生が学校生活を快適に過ごせるように手助けをするサポートデスクである。留学生センター（以下、ECISと記載）にデスクを設置し、留学生からの質問に対応したり、相談に乗ったり、おしゃべりを楽しんだりしている。また、メンバーの提案によってイベントを開催し、日本人と留学生との交流を促進している。

### 【1】 Help Desk とは

#### <活動目的>

- ・名古屋大学の留学生の日本での生活をサポートする
- ・留学生と日本人学生との交流を促進する

#### <活動内容>

- ・留学生が名古屋大学に到着した際のサポート（出張ヘルプデスク）
- ・ECISにおいて留学生の質問や相談の受け付け（通常ヘルプデスク）
- ・各種イベントの実施（夕食ツアー、買い物ツアー、花火大会など）
- ・ミーティングの実施（メンバー内での意見交換や交流、反省会）

#### <対象>

- ・名古屋大学の留学生（主に渡日直後の新規留学生）

#### <年間活動>

3月	前期ヘルプデスク準備開始
4月	出張ヘルプデスク、通常ヘルプデスク、夕食ツアー、買い物ツアー
5~8月	各種イベント、説明会開催
9月	後期ヘルプデスク準備開始、出張ヘルプデスク、通常ヘルプデスク、夕食ツアー、買い物ツアー
10月	通常ヘルプデスク
11~2月	各種イベント、説明会開催

## 【2】2011年度 Help Desk 活動概要

### ◎出張ヘルプデスク

日時：(前期) 4月4日 (後期) 9月26日

場所：国際嚶鳴館(留学生の寮) 1Fロビー

#### 活動内容：

新規留学生の入寮日、最寄り駅(八事日赤駅、名古屋大学駅)で留学生を出迎え、嚶鳴館の入寮手続きの場へと案内。また、嚶鳴館のロビーで留学生と日本人が交流し、留学生の友達作りの場となっている。

### ◎買い物ツアー

日時：(前期) 4月5日 (後期) 9月27日

場所：ジャスコ八事店 オレンジ100円均一ショップ

#### 活動内容：

日本での買い物が初めてで不安、日本語しか書いていないからどれを買ったらいいか分からない、という留学生の買い物をサポートするツアー。到着したばかりで日用品が揃っていないため、ジャスコや100円均一に行き生活必需品等を購入する。毎回嚶鳴館のロビーに集合し、八事まで徒歩で向かう。少し遠いが、その道中で留学生と日本人がおしゃべりを楽しむコミュニケーションタイムとなっている。帰りは荷物が多い留学生がいるため地下鉄を利用し帰ることもある。留学生と日本人が買い物を通してお互いの文化の共通点や相違点を教え合ったり楽しんだりするツアーである。

### ◎夕食ツアー

日時：(前期) 4月4日 (後期) 9月26日、27日

場所：(前期) 学食

(後期) 9月26日→ 嚶鳴館1Fロビーでピザパーティー

9月27日→ 理系学食ダイニングフォレスト

#### 活動内容：

到着したばかりの留学生は、どこでどんな食事ができるのかが分からない。そのような不安を解消すべく、ヘルプデスクのメンバーが到着後2日間ほど夕食ツアーを開催する。

### **[前期][後期]：学食ツアー**

名古屋大学の学生食堂を知ってもらうために学食ツアーを開催。留学生が大学生活において頻繁に利用する名古屋大学の学食の案内と、留学生と日本人の交流を兼ねた。大人数で学食をほぼ貸し切り状態にしなければならないため、事前に予約等を行わなければならない。また、ベジタリアンの留学生や、アレルギーが必要な留学生がいることを考慮しなければならないというのが今回の反省点であった。

### **[後期]：喫煙館にてピザパーティー（今年初）**

喫煙館のロビーを借りてピザパーティーを開催。立食パーティー形式で、参加者は食べたり友達を作ったり、楽しいひと時を過ごした。このケータリング式の夕食ツアーはヘルプデスク初の試みであったが、到着後疲れている留学生がわざわざ遠くのレストラン等に歩いて行く必要もなく、多くの留学生や日本人から高い評価を受け、大成功となった。今後もこのケータリング式の夕食ツアーは続行すべきという意見がメンバー内で多かった。しかし一方で、留学生+日本人の大人数の食事を確保するのは非常に難しく、この点に関しては今後対策が必要と考えられる。



## ◎通常ヘルプデスク

日時：留学生到着後、4月と10月の1ヶ月間。10時~17時

場所：ECIS 1Fロビー

### 活動内容：

留学生の相談デスクとして、授業の登録の仕方や国際電話のかけ方など、様々な質問や相談に対応する。特に質問がない場合でも留学生が気軽に立ち寄って日本人とおしゃべりを楽しんだり日本語会話を練習したりする留学生と日本人の交流の場を作っている。今年度も、前年度から受け継がれているQ&A集を活用し、留学生の多様な質問に対応した。



## ◎ミーティング

日時：ヘルプデスク期間中+適宜必要時にメンバー内で声をかけ合い実施

### 活動内容：

昨年度までは、ランチミーティングとして称されていたメンバー内ミーティング。通常ヘルプデスク開設期間は原則として2週間に1回、留学生からの質問等の報告会

を兼ねて実施。ヘルプデスク開設期間外も、必要時にメンバー同士が声をかけ合い実施している。夕食ツアーや買い物ツアーの反省会、イベントの企画、運営方針などを話し合い、メンバー同士の交流と意見交換の場となっている。今年度からヘルプデスクのメンバーが増えたため、今後もメンバー内のコミュニケーションの希薄化を防ぐためにもミーティングは重要であると考えられる。

## ◎各種イベント

ここ3年ほど、他の国際交流グループと合同で名大祭にフリーマーケットを出店し、その収益の一部を用いてイベントを自主的に企画運営するようになった。これまでにバーベキュー、花火大会、ビアガーデン、回転寿司等のイベントを行ってきた。メンバー、留学生ともに増加傾向にあり、交流の機会を増やすのは大変有意義である。今後もヘルプデスクの良さを活かし、留学生の興味関心を汲み取りつつ、多様なイベントを開催していきたい。





## ◎Help Desk メンバーからの声

- ・外国人と一緒にいることが普通になりました
- ・いつの間にか Help Desk に入っていたという感じでしたが、気がついたら留学生や、そこにいる日本人のメンバーという自分の今までといは全く違う考え方や世界を知ることが出来ました。
- ・日本人同士のつながりを強くすることが課題！
- ・「留学生と友達になれたらいいな」という軽い気持ちで参加しましたが、実際にヘルプデスクの活動を通して留学生と関わる中で、様々な問題もあり、他のメンバーと協力して物事に取り組むことは難しいなと実感しました。ミーティングの毎に課題が見つかり、ヘルプデスクの運営の仕方について多くのメンバーが頭を悩ませていたと思います。ある時には、そもそもヘルプデスクは必要なのかという根本的な問題に突き当たったこともありました。しかし、それ以上にヘルプデスクにいて楽しい事がたくさんあります。ECISに来るようになって、日本人や留学生の友達もでき、他国の文化や外国語に触れる機会が多くなりました。また、国際的な問題や、日本とほかの国々の関係を考えるようにもなりました。ECISはもう僕の家だと思っています。
- ・留学生と仲良くなりたいと思って飛び込んだ Help Desk。気付いたら、留学生はもちろん、日本人の仲間もたくさん出来ていました。国籍も学年も性別も歳も関係ない、Help Desk を通して出会った仲間は一生の宝物です。
- ・留学生と交流できるだけではなく、日本人も含めた国や年齢の壁のない交流ができました。その中で自分とは異なった様々な物の見方や考え方に触れることができ、楽しみながら新しい経験ができます。
- ・ヘルプデスクは大学内のさまざまな人に開かれたきっかけの場です。留学生のサポートを通して、自分自身も楽しみ、たくさんの発見が得られる環境であると思います。これからもこの団体の良さを活かして、メンバーが主体的に考え協力し、国際交流への思いを形にして行ってほしいです。

☆WE LOVE HELP DESK☆

ランゲージシャワー

Language Shower

# Language Shower ランゲージシャワー

## 【1. 学生ファシリテーター構成】

加藤侑也（経済学部2年）

牧 伸治（経済学部4年）

添田幸宏（工学研究科博士前期課程1年）

永井哲郎（理学研究科博士後期課程2年）

他5名、合計9名

## 【2. ランゲージシャワーについて】

プログラム立ち上げの背景：

学内では様々な国際交流プログラムへの参加や外国語で開講されている授業の履修などにより、外国語に触れる機会があるが、「自信がない」、「自分にはレベルが高すぎる」と感じている人もいる。また、第二外国語として勉強してきた、あるいは留学を経験した人達が、習得した言語をもっと使いたいと、その機会を探している場合もある。そのため、誰もが気軽に参加でき、“間違っても良いから、とにかく外国語で聞き、話し、ディスカッションする”機会を提供しようと、2007年度に留学生センターワークショップの“世界の言語・文化を学ぶ”セッションとして開催された。2008年度からは、引き続き同ワークショップの一環として提供しているが、プログラム名をランゲージシャワーとし、学生ファシリテーターが主体となり、セッション企画、運営及び実施を定期的に行っている。

特徴：

ランゲージシャワーは、参加者を同じ言語で1グループ4～5名に分け、用意されたゲームや身近で話しやすいテーマを、その言語で練習しながら楽しむものである。各グループには、会話を盛り上げるなど、コミュニケーションを助ける役割の学生ファシリテーターが1名以上加わる。

学生ファシリテーターは、プログラムの企画、運営、実施を行なうが、各言語レベルは問わず、参加者と一緒に言語を練習しながらコミュニケーションを楽しむことができる。また、グループでの役割だけでなく、セッション全体の司会・進行にも挑戦できる。

プログラムは、練習したい言語を第二外国語などで履修し、基礎レベルを有している人が主な参加対象者と位置付けており、中級レベルでの学習をすでに終えている参加者には、他の参加者のコミュニケーションを助ける役割を担ってもらうことを期待している。

英語以外の外国語は、英語と比べ学習期間が短く、語彙数も少ないため、英語と同レベルのゲームやフリートーキングをすることは難しい。しかし、中国語のように日本人であればその意味を理解できる漢字で表記されるという強みもある。これらのことを考慮し、中国語グループでは、特に間違いを気にせず、まずは話してみると、案外通じるものだという体験をし、中国語を話すことに対する恐怖感を軽減することを目的の一つとするなどしている。

また、可能である限り、その言語を母語とする、あるいは得意とする学生をプログラムの「言語サポーター」として講師依頼し、分からない/間違っ使用している単語や表現を直してもらう。

\*2011年度は Gaudre Trainynte さん(NUPACE 生) 他1名が英語を、王玉傑さん(情報文化学部研究生) 他2名が中国語で言語サポーターとして、プログラムを支援してくれた。

### 【3. 学生ファシリテーターの活動について】

2011年度実施概要：

形成した言語グループは英語、中国語、日本語だが、グループの言語にかかわらず、学生ファシリテーターメンバーとプログラムコーディネーターで事前打合せを数回実施し、その後メールでの意見交換や、セッション資料の準備を適宜行った。また、言語サポーターとなる留学生とも適宜セッション内容について確認を取り合った。

前期は、前年度に実施した内容をベースに意見を出し合い、初めて活動するメンバーにとってはセッションでファシリテート体験をしながら学ぶ機会となった。

後期、英語グループは、各セッション担当を決め、担当メンバーが実施内容を提案し、各セッションの司会・進行を務めた。

中国語グループは、中国や台湾へ留学予定のメンバーが前期にファシリテーターとして活躍し、後期は主に留学生の言語サポーターによりセッションを実施。

各セッション概要は、【4. 2011年度公開セッション記録一覧】を参照。

## 学生ファシリテータの意見・感想

活動参加目的：

- ・ 英語は必ず将来必要となるが、普段英語を使う機会がなく、ぜひ練習したいと思ったため。
- ・ 英語や国際交流に関心があったが、講義以外で実際に英語を使う機会が少ないため、英会話の練習がしたいと思い参加。
- ・ 7月の台湾でのサマースクール、9月からの南京大学での交換留学を控え、知人に誘われ、中国語を話す・聞くことに慣れるために参加。
- ・ 英語を使ってみること。留学生など海外の人と話すこと。他学部の人と話すこと。
- ・ 英語を定期的を使用すること。日ごろの学生生活では、英語を使用する機会が限られてしまうため（もちろん、読み書きの場は多くあるが）、継続的に会話をトレーニングすることは容易でない。LSは英語でコミュニケーションを取る上で、大変有意義なものであろうとの思いがあった。また、LSに参加する方々の多くは、院生や留学生であるため、学部生とは異なったものの見方や体験に触れることができることも、参加目的のひとつであった。

実際にセッションで自分がやってみたこと：

- ・ 学生ファシリテーターのメンバーとゲームを計画。
- ・ セッションのテーマ選び・資料作り・司会進行。
- ・ ウソ付き自己紹介、クロスワードパズルを作るセッションにファシリテーターとして参加。
- ・ 中国語ファシリテーターとして参加したが、6月の全3回の活動では、ファシリテーターとしての役割は特になく、言語サポーター、中国人留学生に話す・聞くのサポートをしてもらいながら、自分のやりたいこと（主に旅行中に撮影した写真の説明）をやらせてもらった。参加者も毎回よく知っているメンバーで話しやすい雰囲気がよかった。
- ・ 参加者自身に関する事柄について相手に伝える・相手から聞き出すという目的で、一対一形式での会話を実施した。具体的には、事前に話のネタとなる質問を幾つか記入したハンドアウトを用意し、参加者が会話に困ったらこれを参照して欲しいと伝えた。ハンドアウトで用意した質問は、5W1Hを使用するものがほとんどであり、これにより参加者自身が必然的に会話をしなければならないような状況を作り出すことを狙いとした。

### 活動してみても発見したこと：

- ・ 単なる会話ではなく、英語で司会をするのが非常に困難なこと（英語の能力だけでなく、場の雰囲気や導いていくこと）
- ・ 「こんなこと、自分の英語力じゃ表現できない」と思うことでも、意外と自分が知っている英語で表現できることが多かった。言葉だけでなく、ジェスチャーを使ってうまく伝えることができたのも印象的だった。
- ・ 何も無い状態で、「さあ、話して！」って言うよりも、写真などを見せながら、その時の状況などを話す方が話しやすい。さらに活動に参加してくれた中国人留学生はゆっくり話してくれて、聞き取りやすかった。中国語を話す練習だけでなく、例えば、日本と中国で同じことわざでも、その内容が違っていたり、そういう文化の違いを知ることもできた。
- ・ 司会進行の難しさ。リスニングとして使用したインタビューの非英語ネイティブ話者の英語に対する参加者の評価が思ったよりも別れなかったこと（みんな好意的であった）ディスカッションが意外な方向へ行ってしまうこと。
- ・ グループ内で能力差があるときの対応が難しい。
  - あまり止めてはできる人が詰まらない
  - あまり早く進んでは、できない人が参加できない
- ・ 視野が広がったように思えることである。LS の参加者は、各々出身国、専攻、興味関心分野がバラバラなため、彼らは様々な情報を英語という形で与えてくれた。そのため、彼らへの理解、文化様式の違い、留学生が抱える思い、様々な分野への見識が深まった。また、このような情報のおかげで、日頃から、彼らに関連する情報が自然と目に留まるようになった。会話のネタになり得るものを探したり、日本文化についての情報を集めたりするような習慣がついたように思う。これは同時に、LS 内で、会話の相手に応じた話題作りにも繋がった。
- ・ 実際のセッションでは、中国語の知識を得たい参加者と、正しい言い方を教えてあげたい言語サポーター双方の思いから、授業と変わらないような状態になった時もあったが、中国語を口に出すということが、少しは身近になったのではないかと思われる。言語サポーターをしてくれた留学生は、ボランティア精神が旺盛で、作り手としても非常に活躍してくれた。

### 活動やプログラムの課題：

- ・ いかに、なるべく多くの方が外国語で話しやすい環境を整えるか。
- ・ どうしても講義の日程や、サークル活動などと予定が重なってしまい参加できなかった。運営する人数や参加者のことも考慮すると、複数日行うのは厳しいが、日程調整が課題だと思う。また、活動の認知度が低く、「英語を使う」とい

うだけでアレルギーを感じてしまったり、難しいと思ってしまったりする人も多く、参加者が増えていかないことだと思う。

- ・ 6月の活動で感じたことは、中国語班の人数の少なさ。ファシリテーターを任せられる人・中国語班に参加する人が少ないということ。実際6月の活動に参加したメンバーのほとんどは、同期の留学仲間などで、始めて会う人はいなかった。逆にそのようなメンバーだからこそ、参加者の中国語のレベルもほぼ同じで、さらに話しやすい雰囲気も生まれたが、初めての人には参加しづらいものだったかもしれない。
- ・ 中国語班では、英語班と違って初めて参加する人に「            について話して！」のようにスパルタ式で進めるのは不可能なので、例えば、            という表現を紹介し、それを使って会話するといった、初めての人でも気軽に参加できると感じられるものを作る方がよいと思う。一定の参加者がいてはじめて、自由に話す、英語班のようなゲーム形式で中国語を学ぶことができると思う。
- ・ 中級レベルの少人数制で進めた方が、参加者の中国語力向上には役立つと思うが、より多くの人に中国語に触れてもらい、中国語に興味を持ってもらうことが、LS中国語班の目指すべきものだと思う。
- ・ アイスブレイキングをどうやるか。どうやって、喋りやすく居心地の良い空間にになってしまうかは、意外と難しい。  
ゲームは楽しい。面白い。でもずっとゲームだと、飽きる参加者も居るかもしれない。(ただし、タッチーでない常識的な範囲で真面目な話題を選んだとしても、気軽に話せない可能性はありテーマや内容の選択は難しいと思う。その際、会の進行も大変となる。)  
知っていることを使うのも大事だが、新しい内容も学んで使えるとより良いかもしれない。
- ・ 課題としては、日本人学生と留学生との交流が考えられる。全体的な傾向として、日本人学生は英語・中国語のプログラムに、一方留学生は日本語のプログラムに参加しやすい。LSは言語を実際に使う機会であるという点では評価されるべきだと思われるのであるが、これを超えて、関係づくりという点からすると、まだまだ改善すべきところがあるのかもしれない(ただ、これは他の国際交流活動との関係も考慮する必要があると思われる)。

今後の抱負：

- ・ 英語で司会をこなせるようになりたい。
- ・ 来期、活動に参加できるかわからないが、より活動の認知度が上がり、参加者が増えてほしい。

- ・ 台湾でのサマースクール、中国での交換留学のため、6月の活動しか参加していない。帰国後は、ファシリテーターとして、参加者に楽しんでもらうこと、留学中に役に立つと思った勉強法、こうやって言えばいいよ！というアドバイスするといった形で活動に関わりたいと思う。
- ・ よりスムーズな進行ができるようになりたい。
- ・ LSは、定期的に外国語を使用する、異文化交流ができるという点で有用な活動である。そのため、今期の反省点を活かしながら、より良いプログラムとなるように活動して行きたい。もちろん、個人的には英語に対する更なる努力が必要であることは言うまでもないことであろう。

**\*\* 言語サポーターからも一言! \*\***

このランゲージシャワーから、私はいろいろ勉強できました。中国に興味を持っている方と会話して、国々の文化を交流でき、友達もできました。とても面白かった。これから、このようなイベントにもっともっと参加したいです。



#### 【 4 . 2011 年度公開セッション記録一覧】

日時	セッションテーマ	練習言語(参加人数)
5月16日 16:30-18:00	嘘つき自己紹介(ランゲージシャワーを知ってもらうためのデモンストレーション)	英語(11)、日本語(2) 中国語(2)
6月6日 16:30-18:00	リスニング&リピテーション、ディスカッション/嘘つき自己紹介(英語・日本語) フリートーキング(中国語)	英語(28)、日本語(4)  中国語(7)
6月13日 16:30-18:00	クロスワーズのヒントを作る/イラストに描かれている事を描写する(英語) フリート-キング:週末の過ごし方・お酒の種類・PC用語(中国語)	英語(35)、  中国語(5)
6月20日 16:30-18:00	マイクロ・ディベートに挑戦(英語) フリートーキング:生け花・電話・故事成語(中国語)	英語(16) 中国語(3)
7月4日 16:30-18:00	“Who am I?”ゲーム、Free conversation(英語) フリートーキング:李さんの富士山登山旅行(中国語)	英語(6)、 中国語(4)
*7月12日 17:30-19:00	水餃子を作ろう(中国語/英語)	中国語(3)、英語(3)
11月14日 16:30-18:00	You tube を使って、ネイティブ・非ネイティブのインタビューを聞く(英語) 自己紹介など(日本語)	英語(10)  日本語(9)
11月21日 16:30-18:00	5W1H を使ってインタビュー(英語/日本語)	英語(12)、日本語(4)
12月1日 16:30-18:00	イラストに描かれた「私」は何?(英語/日本語) 自己紹介(中国語)	英語(12)、日本語(1) 中国語(9)
12月8日 16:30-18:00	想像力を駆使して物語を作り直そう!?(英語) 中国のお正月(中国語)	英語(14) 中国語(6)

\* 7月12日の「水餃子を作ろう」は、学生ファシリテーターメンバーの親睦も兼ね、学外の施設を借り、水餃子を作りながら、自由に会話を楽しんだ。

## 【5. 参考】

### セッション開催案内ポスター(2011 年度前期 6 月開催分)

# LANGUAGE SHOWER

Let's speak, listen or discuss on various topics  
in **Foreign Languages**

Language Shower (LS) is the program for those who have the basic knowledge of the foreign language but are not confident of command over it. Why don't you practice it in a small group without worries about making mistakes? We look forward to your participation with easy topics to talk and enjoyable games in the foreign language!

● **June 6, 13, 20 (Mondays) 16:30--18:00**  
at CALE Forum, 2F, ECIS/CALE Bldg, Nagoya University  
for **English or Japanese** language group

at #202, 2F, ECIS/CALE Bldg, Nagoya University  
for **Chinese** language group:

We encourage you to take part in all sessions, if possible! Visitors without prior registration are also welcome!

**Registration:**  
Please send an e-mail with your name/school/the language (English, Chinese or Japanese) of which you wish to practice in the session and the level of the language. (\*The basic knowledge of the language is necessary. Participants at the **advanced level** of the language are expected to support other participants' communication.)

★E-mail address: [adv@ecis.nagoya-u.ac.jp](mailto:adv@ecis.nagoya-u.ac.jp) (Tanaka & Fumi)  
ECIS Advising & Counseling Services, Education Center for International Students, Nagoya University)

● Organized by ●  
Nagoya University Language Shower Student Volunteer Committee,  
and ECIS Advising & Counseling Services (#204), Nagoya University

# ランゲージシャワー

## 外国語で話し、聞き、ディスカッションしてみよう!

ランゲージシャワー (LS) は外国語でのコミュニケーションに自信がない、もっと外国語を使ってみたいという人のためのプログラムです。外国語で、間違いを恐れずに話し、聞き、会話を楽しむ機会を提供しています。どなたの参加も歓迎します!

●6月6, 13, 20日(月) 16:30 - 18:00

英語あるいは日本語で話すグループ  
(場所)名大留学生センター/CALE棟2階 CALEフォーラム

中国語で話すグループ  
(場所)名大留学生センター/CALE棟2階 202講義室

全セッションに出でくださることをオススメしますが、飛び入り参加も歓迎しています!

**登録:**  
参加に興味のある方は、氏名/所属、練習したい言語(英語・日本語・中国語のいずれか)と、その言語のレベルを下記までメールにて登録ください(\*各言語、基礎的な知識を必要とします)。上記以外の参加者には、他の参加者のコミュニケーションをサポーターする役割を担ってくださることを期待します! 日本語で話したい留学生と楽しく会話をすることも可能です。

E-mail: [adv@ecis.nagoya-u.ac.jp](mailto:adv@ecis.nagoya-u.ac.jp)  
(名古屋大学留学生センター アドバイジング・カウンセリング部門 田中&ふみ)

●主催●名古屋大学生 Language Shower ボランティア、  
名古屋大学留学生センター アドバイジング・カウンセリング部門(204)

ポスターは、口コミや、学内の各部局へ掲示を依頼したり、留学生センターのホームページ(<http://www.ecis.nagoya-u.ac.jp/exchange/workshop.html>)内に掲載して広報。

留学のとびら

Gateway to Overseas Studies

# 留学のとびら

## 2011 年度 活動報告

(文責：黒田将平、佐藤拓磨、中原奏百亜)

### 「留学のとびら」について

「留学」に興味・関心のある学生が主体となり、名大生の派遣留学を推進する団体である。留学生センター海外留学室が母体となり、イベントを企画・運営するという活動を通じて、多様な背景を持つ留学仲間をつくり、自立した団体運営ができるようになるためのファシリテーション手法を学べることが大きな特徴である。

### 活動理念

- 一人一人が個性とリーダーシップを発揮し、互いの成長を刺激し高め合える団体。そして、大学生活を充実させられるような笑顔あふれる団体。
- 留学の希望・願いを持ってきた名大生に、情報入手・交換の場を提供し、自らが見本となることで彼らのモチベーションを上げ、実行へ繋げていく。

### 設立の経緯と活動の流れ

2009年に留学より帰国した学生が設立した「留学のとびら」であるが、2010年より主要メンバーが卒業ならびに進学のため活動が難しくなった。そのため、海外留学室が主体となり、2010年12月に新たに2期メンバーを募集して再設立したのが現在の「留学のとびら」である。

しかし再結成時の主要メンバーのほとんどは2011年度に留学する学生が占めていたことから、2011年の夏に3期メンバーの募集を行った。そのため、2011年度だけを見ても主要メンバーが前期と後期で入れ替わったという経緯がある。



このような経緯から、この報告書では「2011年度前期」「2011年度後期」について別々に紹介して行く。

## 2011 年度前期

### メンバーについて

募集のため声を掛けたのが、主に2011年度に留学が決定していた学生、名大の

正規留学生、留学から帰国した学生であった。途中、入れ替わりがあるものの、15名程度の学生が所属していた。そのうち中心となって活動したメンバーは10名弱である。

## 2011年前期の活動について

2010年度に行われた「ファシリテーション研修」での学びを活かし、ミーティングではメンバーが「ファシリテーター」役を交代で回し、体験を通じて団体運営のスキルを高めた。

新しく団体が立ちあがってから初のイベントを行うまでに約6カ月あったため、フル機動するまで中だるみがあったり、ミーティング時間が短いため内容が決まるまでに多くの時間を要したこともあったが、最終的にはメンバーの一人一人が遺憾なく力を発揮し、目標であったイベント来場者数70名を大きく越え、またこの10月の交換留学応募者数も大きく伸び、名大留学の推進に大きく貢献できたと言える。

反省点としては、リーダーを立てた方がスムーズに団体運営ができたであろうことや、メンバーのほとんどが夏に留学してしまったため、このイベントをようやく実施してみて得られた学びがすぐ次に活かさないことであった。

## 実施イベント

<名大生のための海外留学フェア>

### イベント概要

2011年6月22日(水) 15:15~18:00@ベンチャービジネス・ラボラトリー

内容:

#### 第一部:プレゼンテーション

- A. 交換留学決定学生による合格までの道のり  
(応募までのプロセス、留学計画、語学対策など)
- B. 協定校からの留学生による母国と大学紹介  
(現地情報、文化の違い、日本での生活など)
- C. 留学帰国学生による留学体験談  
(現地での生活の様子、留学費用、留学による変化など)

#### 第二部:パネルディスカッション

交換留学決定学生・協定校から名大への留学生・留学帰国学生に、よくある質問のインタビュー

#### 第三部:フリートーク・ポスター発表

留学関係学生や、フランス政府留学局、IELTS、TOEFL 担当者が参加

スタッフ人数：12名

来場学生数：107名

## 実施アンケートの結果

回答者数：38名

上記各セクションに対する評価（1：「役に立たなかった」～5：「役に立った」）

**「交換留学決定学生による合格までの道のり」の平均スコア：4.51**

- ・いつからどのような準備や手続きをするか具体的な情報が欲しかった
- ・まさに自分に言われているような心に刺さる言葉で良い刺激だった

**「協定校からの留学生による母国と大学紹介」の平均スコア：3.91**

- ・外国の大学の様子が見れて良かった
- ・おもしろかったが自分の志望する国ではなかった

**「留学帰国学生による留学体験談」の平均スコア：4.84**

- ・ワクワクしてモチベーションが上がった
- ・留学してきた人は自信があると思った。帰国後も社会への見方が変わっていくんだということも分かった
- ・トラブルがあるのを知り不安になったが、とにかくいろいろ楽しみたくなった

**「パネルディスカッション」の平均スコア：4.04**

- ・留学する人の考えが聞けて面白かった
- ・留学先の印象など、それぞれの行き先が違うため、聞いても仕方ないと思う質問もあった

**「フリートーク・ポスター発表」の平均スコア：4.43**

**参加後の留学意思の変化：4.58（1：「弱くなった」～5：「強くなった」）**

- ・たくさん話を聞き、海外へ出て、自分の知らない世界を見たいという思いが強くなった
- ・具体的なイメージが湧いて海外への憧れが強くなったし勉強の話聞いて自分も頑張ろうと思った

## もっと知りたいテーマ上位4つ

(17 票) TOEFL・IELTS などの語学試験対策

(13 票) 留学に必要な情報の集め方

(13 票) 留学国・大学・履修科目の選び方

(13 票) 留学の費用

## 反省

これまで学内における留学イベント来場者数が 60 名前後だったところ、107 名の来場者を記録した。メンバーの努力が反映された結果とも言えるであろうし、学生の留学に対する興味関心が上がっていることの裏付けとも言えよう。

イベントの内容であるが、全ての内容において、「やや役に立った」～「役に立った」との回答がほとんどで、来場者の留学意欲をかきたてたイベントであったと言える。

意外だったのが、NUPACE 生による母国と大学紹介の評価が低かったことである。アンケートの回答によると、学生はすでに行きたい国や大学をある程度決めているようで、「海外の大学の様子が分かった」という意見よりは「自分には関係ない話であった」と結論付ける意見の方が多かった。

また、留学から帰国した学生の話には現地でのトラブルも紹介されたが、それも含め留学を好意的に捉える学生が多かったことも興味深い。



前期に活動したメンバーとイベント終了後の記念写真

## 2011 年度後期

### メンバーについて

上記「名大生のための海外留学フェア」にて、新メンバーの募集を行った。その後も口コミなどで数が増え、後期だけで 25 名程が所属したものの、現時点で主要メンバーとなっているのは 10 名強である（2011 年後期に留学中のメンバーは含まず）。団体 SNS に登録していなかったり、音沙汰のないメンバーが多かったため、再度メンバー再構成を行った結果、現在は 15 名となっている。

### 2011 年度後期活動について

前期と大きく異なる点が、メンバーを「短期イベント班」「長期イベント班」に分けたことである。実施イベントに要する準備時間の長さの違いを指すが、準備に時間をかけ、できるだけ多くの学生来場者を集めるイベントの企画・実施を行うチームは「長期班」に、そして比較的気軽に準備し実施できるイベントを行うチームは「短期班」に属することとなった。

ミーティングは長期班チームが毎週木曜日のお昼休みに、短期班チームは必要性に応じてそれぞれ行い、全体として経過報告ならびに互いにフィードバックするための全体ミーティングを月に 2 回行った。

### 短期イベント班による実施イベント

<平成 24 年度交換留学応募学生のための模擬面接会>

2011 年 11 月 2 日（水）14:45～16:15@留学生センター301 号室

対象者：平成 24 年度大学間協定校への交換留学派遣に応募した学生

スタッフ人数：5 名

参加学生人数：24 名

内容：選抜面接で自分の力を発揮できるようにするため、学生同士で面接のシミュレーションを行う。学生役や面接官役をそれぞれ体験し、客観的な視点を取り入れることで、留学計画をさらに深めることが目的。

感想・反省：イベント終了前に参加者に感想を聞く予定ではあったが、時間が押してしまったため、参加者の率直な意見を聞くことができなかった。しかし、直接話をした学生からは「勉強になった」という声が聞けたことが幸いである。

<ゲームで学ぶチャイ語教室>

2011 年 12 月 22 日（木）12:10～12:50@留学生センター201 号室

対象者：全学の学生

スタッフ人数：3名+企画学生の友人である中国人学生

参加学生人数：6名

内容：初めて中国語を学ぶ学生にも楽しんでもらえるような内容を、ゲームを通じて楽しく中国語に触れてもらう。

感想・反省：アンケートによると、手伝いに来てくれた中国人学生も始め、参加者は楽しんで参加してくれたが、参加人数が少なかったのが残念である。告知を実施日の一週間前に始めたため、学生の認知度が圧倒的に少なかったと思われる。

#### <日本を知り、日本を語る映画鑑賞会>

2012年1月12日（木）16:30～18:00@CALE フォーラム

対象者：全学の学生（特にNUPACE生）

スタッフ人数：6名

参加学生人数：19名

内容：日本文化として「交際」を題材とした短編映画を上映し、日本や各国についての恋愛事情を語り、異文化理解を深める。

感想・反省：NUPACE生の多くが授業のある日時に実施となり、少ない参加人数を覚悟していたが、飛び入り参加が多く助かった。しかし持ち込んだPCがプロジェクタに繋がらなかったり、事前にダウンロードしきっていなかった映像が途中で切れてしまうハプニングがあったが、参加者からの評価は高かった。

しかし、「もっと長くしてもよかった」、「恋愛事情は人によりけりなのでディスカッションがしづらかった」などの声がいくつか挙がったため、次回はもう少し長めの映像を探してくることや、各テーブルにファシリテーターを用意するなど工夫をすることも検討材料となった。



## 長期イベント班による実施イベント

<名大生のための海外留学フェア>

2011年12月21日(水) 15:00~18:00@ベンチャービジネス・ラボラトリー

概要：前回のイベントのアンケートで費用に着いてもっと詳しく聞きたいという声が寄せられたため、奨学金や現地での費用などお金に関することに焦点を当ててイベントを行った。

内容：

### 第一部：奨学金についての説明

奨学金といっても多様にあるが、今回は交換留学向けで給与型の JASSO 奨学金、名大奨学金について説明を行った。

### 第二部：留学経験者によるスライド発表

地域別に4人がアメリカ(ロサンゼルス)→アメリカ(イリノイ州)→ドイツ→中国の順番で発表した。

- ・アメリカは地域によって費用事情が大きく変わるため、二つの地域の異なる場所での留学について発表した。
- ・パンフレットに発表者一人ひとりの渡航前、現地、その他の費用について項目別に詳しく記載した。

### 第三部：留学シミュレーション

- ・実際に今留学に向けて準備している学生が、どのような手順で準備をしているかを具体的に説明した。

### 第四部：フリートーク・ポスター発表

- ・留学関係学生や、フランス政府留学局、IELTS、TOEFL 担当者が参加

スタッフ人数：12名

来場学生数：66名

## 実施アンケートの結果

回答者数：42名

上記各セクションに対する評価(1:「役に立たなかった」~5:「役に立った」)

### 第一部「奨学金についての説明」の平均スコア：4.24

- ・既知の情報であった

### 第二部「留学体験者によるスライド発表」の平均スコア：4.65

- ・お金のことは一番気になることなので、細かく聞けて良かった

- ・実体験に即していたのでわかりやすかった
- ・いろいろな国の話が聞けて、比較することができたので良かった

### 第三部「留学シミュレーション」の平均スコア：4.32

- ・自分の中で知りたいことが、ほとんど述べられていた
- ・既に知っていることが多かった

### 第四部「フリートーク・ポスター発表」の平均スコア：4.38

#### 参加後の留学意思の変化：3.97（1：「弱くなった」～5：「強くなった」）

- ・実生活、費用の話からイメージが湧いたから
- ・自分でアルバイトをすればためられる金額であるとわかったから
- ・みなさんたくさん交流したり旅行に行ったり上手にやりくりされてすごい

#### もっと知りたいテーマ上位5つ

- (19票) 留学に必要な情報の集め方
- (15票) 何年生で留学するか？
- (13票) 留学国・大学・履修科目の選び方
- (13票) 留学の費用
- (13票) 語学試験対策

## 反省

イベント実施後日、ミーティングを行った。方法は、良かった点・改善点を Post-it に書いて発表し、全員の意見をまとめ、掘り下げていくというやり方で行った。以下は出た意見を集約したものである。

#### チームワークについて

- ・力を発揮できた人は十分に発揮できていた
- ・個人の仕事量の差が大きかった部分があった
- ・責任感が足りなかった
- ・何より、全員で団結してイベントを行うことができた

#### 広報について

- ・ビラ配りをするまで追い込まれた
- ・アンケートにより、授業前宣伝はさほどの効果がないことが判明
- ・SNSをもっと活用したらどうか
- ・ターゲットの学生像が明確ではない

## イベント当日について

- ・体験談はとてもよかった
- ・想定されるアクシデントも考えておくべき
- ・動き、流れをシミュレーションするべき
- ・途中にリフレッシュタイムが必要
- ・イベントのコンセプトが明確だった
- ・予想より多くの参加者が得られた
- ・内容が充実していた

## その他

- ・イベントリーダーを立ててやるべき？
- ・ミーティングに人が集まらない

## 総括

今回の留学フェアは“お金”というコンセプトで行った。内容は奨学金のみならず、名古屋大学生の交換留学帰国者の協力のもと、海外での生活費などまで情報を提供することで、より現実味のある“留学生活”というものを実感してもらえたとアンケートを通じてわかる。また、その話の中で、体験談も混ぜて行ったという点も満足してもらえた点だといえる。質問が数多く出たことや、TOEFL、フランス政府留学局の関係者にも参加してもらったこと、さらにはNUPACE生との交流の場をつくったことにより、活発で内容の濃いイベントとすることができた。今後の課題としては、多くの反省を今後の活動にどう生かし、いかによりよいものを作れるかということが挙げられる。

## 来年の抱負

来年は対象となる学生の幅をもっと広げ、可能であればイベント回数を増やしつつ、一人でも多くの学生に留学の情報を提供したいと思う。それによって、少しでも多くの方が海外に興味を持ち、自らの学習意欲を高め、チャレンジ精神を養ってくれることを願う。それに加え、イベントを企画運営する留学のとびらのメンバーも自分で何かを作り上げていくことで、責任を果たす、意見を主張する、他メンバーとの協力、新たなことへの挑戦、といった自己の内面の成長に加え、達成感を味わう喜びを感じられるような人としての成長をはかりたい。



アメリカ留学をしたプレゼンターに聞き入る来場学生達



後期メンバーとイベント終了後の記念撮影

異文化交流サークル ACE

Action Group for Cross-Cultural Exchange

## 異文化交流サークル ACE

2011 年度 活動報告

### 1. What's ACE?

担当 高橋達也

#### 【活動概要】

私たち ACE (Action-group for Cross-cultural Exchange) は、「交流・架け橋・ボランティア」を三大理念に掲げ、名古屋大学に所属する留学生の生活面のサポートや毎月開催するさまざまなイベントの企画・運営を行っている。ACE は、留学生を支援し、一般学生と留学生の交流を促進することを目的として、1988 年 6 月に結成された異文化交流サークルで、今年で 24 年目を迎える。

主な活動としては、春と秋の新規留学生の受け入れ活動と、毎月行うさまざまなイベントがある。

留学生の受け入れ活動とは、4 月と 10 月に留学生を名古屋大学に迎えるための活動で、

- インターナショナルレジデンス・桜山留学生会館の入居手続きや案内のサポート活動
- 入居・学習オリエンテーションの手伝い
- 学内を案内するキャンパスツアー
- 周辺情報や日本で生活する上で便利な情報を掲載したパンフレットの作成
- ウェルカムパーティー
- 大学周辺を散策する遠足
- 留学生のためのバザー

などがある。受け入れ活動は、留学生センター、NUFSA (名古屋大学留学生会)、インターナショナルレジデンス・桜山留学生会館の方々、地域のボランティア団体等と連携し、留学生が名古屋大学での生活を安心してスタートでき、学習に励める環境づくりに努めている。

イベントは、

- 日本文化を紹介するもの：七夕パーティ、もちつきなど
- 交流の場を提供するもの：スキ\_、ハロウィンパーティなど
- AFSA (愛知留学生会) 主催のもの：春・秋のバス旅行、留学生のタベ

などを行っている。また、近年では全国各地の国際交流サークルとの交流や連携も進み、活動の幅が広がっている。

ACE は、留学生との交流を通して異文化理解・国際理解を実践するだけでなく、イベントの企画・運営を通して人間的に成長する場にもなっている。また、メンバーそれぞれが ACE の枠を越えて活動することを尊重する自由な雰囲気があり、そこから生まれるつながりや発見も、サークル活動の原動力となっている。

#### 【組織】

約 60 名が参加しており、名古屋大学の学生を中心としているが、近隣の他大学の学生も多く活動している。

毎年 6 月に行われる「まじめ合宿」で代替わりを行い、2 年生が中心となって運営を行っている。運営方針や役職は、その年度ごとに 2 年生が話し合いを重ねて決定する。本年度は、代表 1 名、副代表 2 名、会計 1 名の役職のほか、Web 担当、ML 担当、ACE メール担当、AFSA 担当に分かれている。各担当の詳細は以下の通り。

●Web 担当：HP の管理

●ML 担当：ML の管理

●ACE メール担当：ACE メールの管理

●AFSA（愛知留学生会）担当：月 1 回の AFSA 会議への参加、AFSA 主催イベントの企画運営

イベント運営は、基本的にイベントごとにチーフ・サブチーフを決め、週 1 回のミーティングでイベントの内容や準備、当日の動きについて話し合い、イベント終了後は反省をまとめる、という形式をとっている。各イベントの反省はウェブ上のブリーフケースにアップされており、全メンバーがいつでも閲覧できるようになっている。20 年以上の歴史をもとに、組織化・マニュアル化を進め、毎年より良いイベントとなるよう改善に努めている。



←富士登山での様子

## 2. 2011年の活動

担当 足立のどか

各イベントは毎週月曜日に開かれるミーティングで話し合い、企画を進め、終了後は反省を行っている。本年も、歴史に沿ったイベントや活動だけでなく、新しい試みを行うことを心掛けた。

○1月○

もちつき・書き初め



書き初め

○2月○

NCO（国際交流を实践する学生の集い 淡路島にて）

スキー



NCOでの発表

○3月○  
追い出しコンパ  
花見



花見



○4月○  
春の受け入れ活動  
新入生勧誘活動  
持ち寄りパーティー  
着物観光  
(国際交流を实践する他団体と)

着物観光

○5月○  
AFSA 春旅行  
BBQ (NUFSA と)  
留学生の昼下がり  
(留学生と一緒に  
各国の料理を作る)



BBQ

○6月○  
まじめ合宿

(ACE内での代替わり)

まじめ合宿



○7月○  
七夕



七夕・流しそうめん

○8月○  
富士山企画  
キャンプ  
韓国木浦大学  
の研修生との交流

キャンプ



○10月○

秋の受け入れ活動

ワールドコラボフェスタ

AFSA 秋旅行

ハロウィンパーティー

すぽっちゃ (スポーツ企画)



AFSA 旅行・リンゴ狩り

○11月○

秋合宿 (一宮にて)

留学生の昼下がり



留学生の昼下がり

○12月○

留学生の夕べ

持ち寄りパーティー

すぽっちゃ



留学生の夕べ

#### <ACE で異文化交流する意味>



異文化交流は、自分ひとりと、異なる文化圏で育った相手ひとりがいれば成立します。

ではACEメンバーはなぜ、このサークルで活動しているのでしょうか？

#### 1. ACE=交流のキッカケ

- ・受け入れ活動の一つである寮入居手伝いでは、日本に来たばかりの留学生とほぼ一対一で話をする。“初めての日本人の友達”といってもらえて嬉しかった。
- ・ACE はいろいろなイベントを主催している。準備は大変だけど、そのイベントを通じて国籍を問わず知り合いが増えた。

#### 2. ACE=ボランティアグループ・発見の場所

- ・日本人として、留学生が日本を好きになってくれることは素直に嬉しい。その手伝い出来ることは自分にとっても幸せ。
- ・留学生に日本文化を紹介するイベントで、自分が意外と日本のことを知らないことに気付かされたし、世界の国の料理を作るイベントでは様々な文化に胃袋で触れた。

#### 3. ACE=気の合う仲間たち

- ・自分と同じく、異文化のこと・世界のことに興味を持っている人が多いから、民族料理のレストランに行ったり、一緒に旅行したり、やっぱり一緒にいて楽しい。
- ・皆とても活動的。長期休みにはミーティングに人が集まらないくらい皆が旅に出るし、留学に挑戦する人も多い。ACE はそんな人達の集まりだから、いろいろな情報がもらえるし、皆の異文化に対する積極性に刺激される。



当然のことながら、ACE に求めるものは人によって様々。留学生の友達を増やしたいとか、英語の会話力をつけたいとか。けれども、根っこにあるものは同じではないかと思う。それはズバリ「異文化」交流ということ。ここで「国際」交流と言わなかったのは訳がある。つまり、ACE は、留学生との交流は勿論のこと、同じ日本人と関わることで異文化を身をもって体験する場になっている。ACE は異文化交流サークル ACE であって国際交流サークル ACE ではない。そういう広い意味での異文化体験が出来る場が ACE だと思う。色々な背景をもち、色々な考え方や感性を備えた、ひとことで言えば個性的な人が自然と集まって出来ていて、そこにはもう異文化を体験する素地が出来上がっている、そんな場所だ。かくいう私も当初は留学生との交流がしくてこのサークルに入ったのだが、留学生や ACE と関わるうちに、異文化は身の回りにありふれていることに気付いた。他の人と交流することがすでに異文化交流なのだと思う。

### ACE に入って感じたコト

- 人とのつながり：さらに留学生の友達を増やしたいと思った。  
尊敬できる魅力的な先輩に出会えた。
- 人間的成長：視野が広がって今までとは違う考え方ができるようになった。
- 新しい経験：留学生との交流は知らないことの連続で刺激的で楽しい。  
アクティブなメンバーに刺激され自分も留学を考え始めた。
- 旅行：日本についてもっと知っておくべき。  
現地に行ってもっと様々なヒト・モノに出会いたい。



←秋合宿：ACE の活動について考え直す良いきっかけとなった。

#### 4. これからの課題

担当：須渕里佳

私たちは ACE の活動を通して、異文化交流を楽しむとともに、メンバーが互いに刺激しあってそれぞれの夢や目標に向かって歩んできた。また、今年は三大理念“交流・かけ橋・ボランティア”に基づいて、「留学生の昼下がり」をはじめとする新しいイベントを積極的に開催することができた。このような成果が挙げられるが、今後の課題もある。

##### **課題 1：自主性と協力的姿勢のバランス**

ACE では、メンバーの自主性を重んじて活動を進めてきた。これは ACE の特徴であり長所である。その一方で、協力的姿勢が求められる場面でどのように活動を運営していくかが今後の課題だ。例えば、春と秋の留学生受け入れ活動やイベントの運営では、事前の準備や当日手伝う動員などに多くのメンバーの協力が必要となるが、十分な人数を集めることに苦勞することがある。これらの活動を円滑に進めるためにはメンバー間の協力が不可欠である。しかし、ACE メンバーに対して手伝いを義務付けたり、参加を強制したりしてこの課題を解決することは、所属メンバーに対して拘束力を働かせることになり、各自の自発的な参加・協力を大切にする ACE の良さを失うことになってしまう。自主性を尊重する雰囲気を持しながら、質の高い活動を続けるためにメンバー同士が協力していかなければならない。ACE の運営は、留学生の学生生活をサポートするというやりがいのある仕事ができる上に、運営をきっかけとして留学生の友達を増やすことができる。また、責任ある運営の仕事を行うことで自分を成長させるチャンスが得られる。このような、運営に携わり協力することで手に入れることのできる充実感をサークル全体で共有することで積極的な協力を促して、自主性を大切にしながら、これから更に質の高い活動を目指したい。

##### **課題 2：イベントの広報活動**

七夕やハロウィンパーティーなど、毎年恒例の行事には多くの留学生・日本人参加者を呼び込むことができている。しかし、新しいイベント等で十分な数の参加者を集めることに苦戦することがある。現在 ACE では広報活動として、イベントのチラシを作成して全学教育棟や留学生センターの掲示板に貼ったり、facebook 上(主に events of ACE)で参加者を募集したりしている。今後、より多くの人に ACE の様々なイベントを知ってもらい、参加者を増やすために、従来の広報手段を改

良ししなければならない。また、留学生の参加者を増やすためには、もっとメンバーが留学生に直接声をかけて誘う必要があると感じている。各メンバーがイベントの間だけでなく、普段から積極的に留学生と関わっていき、イベント参加を積極的に誘えるようになりたい。

これらの点を踏まえて、これからも楽しく活動していきます！！！！

NUFSA 名古屋大学留学生会  
Nagoya University  
Foreign Students Association

名古屋大学留学生会  
Nagoya University Foreign Students Association (NUFSA)  
2011

Christian OTCHIA

### 1. About NUFSA

Nagoya University Foreign Students Association (NUFSA) is a diverse and cultural student led organization founded by Nagoya University, whose primary aim is to bring together all international students enrolled in Nagoya University and visiting scholars. Our mission is to create a sense of community by facilitating intellectual, cultural, and social exchanges among international and like-minded students, faculty and staff. We also foster understanding of diverse cultures and help to develop a cosmopolitan outlook among foreign students, and between foreign students and Japanese students. Finally, we serve as support to incoming international students in adjusting to their new cultural setting in Nagoya and creating opportunities for networking.

### 2. Executive Board

- President : Christian OTCHIA (Democratic Republic of Congo)
- Vice President : Liam Pierce (Canada)
- Secretary & Treasurer (ST): Parvin Ergasheva (Tajikistan)
- Cultural Division Officer (CDO) : Krzysztof Jozwik (Poland)
- PR Officer (PRO): Jacob Ojeah (Nigeria)

### 3. Membership

NUFSA membership is free of charge and automatically granted to all foreign students enrolled in Nagoya University, regardless of their nationality, major, schools, undergraduate or graduate students, etc. However, NUFSA holds a mailing list where information related to major events, academics and daily life experience are shared. For updates, student's write-ups, comments, ideas are invited, therefore, in order to participate; students should register at [nufsa@googlegroups.com](mailto:nufsa@googlegroups.com)

### 4. Networking

In 2011, NUFSA used sports as tool for fostering understanding of diverse cultures, and as a vehicle for international universalization in response to the rise of international students in Nagoya University.

Please find us!!!!

Facebook: [NUFSA Fan Page](#)

Twitter: [www.twitter.com/nufsaorg](http://www.twitter.com/nufsaorg)

Website: [www.nufsa.wordpress.org](http://www.nufsa.wordpress.org)

### 5. Support

NUFSA receives support from various organizations. We are financially supported by Nagoya University Foreign Student Support Association and we receive regularly technical or organizational support from Nagoya University International Students Advisor Office. We also collaborate with volunteer groups (ACE, YWCA, ALOE, Tomodachi) for organizing activities such as bazaars, welcome party for new in-takes, excursions etc.

## 6. Activities

In order to achieve our goals, we organize activities on annual bases, which run concurrently on weekly bases within semesters:

- Orientation for Incoming International Students

NUFSA participates in Incoming International Students orientations held in Students residence (Sakurayama Kaikan, Homeikan, International Resident Higashiyama, International Resident Yamate, and Ishida Memorial International Residence Myoken). The purpose is to introduce ourselves to Newcomers and give them first necessary information and tips for daily living and survival in Japan.

- Welcome party

Together with ACE, we organize welcome parties, which is a platform for old students to welcome new students and it is also an avenue for interaction, networking and social exchange of ideas, experiences and culture, which is the first foundation towards building strong lasting friendships in most cases.

- Bazaar

Every year in April and October, NUFSA holds bazaar at Nagoya University International Residence Higashiyama. The bi-annual NUFSA International Students' Bazaar is an absolute goldmine of quality secondhand home necessities at ridiculously cheap prices.

- Music performance

Held in June during Nagoya University Festival, NUFSA presents dance and music performance from various countries and style, this event is organized by Nagoya University. The annual Festival is a massive event, in which students turn out in their thousands, accompanied by perfect summer weather, outdoor bands, and street-side stalls selling food and drinks, and a flea market to die for.

- Newsletter

NUFSA newsletter is a bi-annual publication, which reports on current activities, students experience and events in Nagoya. Articles are written by students and a copy of the newsletter can be downloaded on our website.

- Sports events

Every Friday and Saturdays, we organize soccer and basketball games from 9 to 11 in the morning. Both Japanese and International students enjoy playing together.

- Academic activities

1. Japanese Language & Culture course for foreign students' family members, sponsored by Nagoya SAKAE Lions Club

2. NUFSA supports FeedForth which is an international conference organized by Nagoya University graduate students, created to explore opportunities for academic dialogue among researchers operating in diverse fields.

- French club

We support French club activities where students meet once a week for French conversation.

### 3. 2011 Significant Events

- Valentine's day
- Welcome party



- Bazaar



- BBQ



- Halloween party
- French club year end party

#### 4. Future plan

For the coming year, we plan to foster understanding of diverse cultures by organizing culture festivals.

名古屋大学学生フォーラム IF@N

The International Forum  
at Nagoya University

第2回名古屋大学国際学生フォーラム IF@N  
The 2<sup>nd</sup> International Forum at Nagoya University

2011年度 開催報告

編集： 伊藤洋人  
林佑美枝  
白其格其

## 1. はじめに

IF@N とは、名古屋大学に集うさまざまな学生が、日本語・英語による自由闊達な討議・意見交換を通じて、国際理解・相互理解を深めるために開催されるフォーラムである。「出会う、繋がる、広がる」をコンセプトとする、「学生の、学生による、学生のための」フォーラムである IF@N は、2010年12月に第1回を迎えたばかりの比較的新しい試みである。2011年度は、開催時期の調整、広報の改善、ディスカッション内容の発表の工夫、懇親会企画、引き継ぎ資料作成などに注力した。

## 2. 各ディスカッショングループとテーマ及び実行委員メンバー

### A: 大学

林佑美枝(文学部4年)  
吉田絵梨奈(経済学部2年)

### B: 国際社会

伊藤洋人(医学部4年)  
新村友美(経済学部4年)

### C: 人生設計

津田ありさ(農学部3年)  
猪原暁(工学部2年)

### D: 文化・社会

白其格其(文学研究科1年)  
宮地美希(農学部3年)

### E: コミュニケーション

高宮城冴子(医学部3年)  
羽喰英美(農学部3年)

### F: エコロジー

岩井里佳(農学部4年)  
陳曉婧(国際言語文化研究科研究生)  
劉リンウェイ(教育学部2年)

## 3. 活動内容 (2011年度の報告)

### 3.1 当日 (2011年11月12日) の流れ

9:00-9:30	受付	15:15-15:30	片づけ・移動
9:30-10:00	開会式	15:30-17:10	発表会
10:00-10:00	アイスブレイキング	17:15-17:30	閉会式
10:30-12:00	分科会1	17:30-18:00	片づけ・移動
12:00-13:00	昼食	18:00-20:00	懇親会(希望者のみ)
13:00-15:15	分科会2		

### 3.2 インTRODクシヨン一部抜粋(各ディスカシヨングループの紹介)

#### A: 大学 : 「ぬりかえよう、学生生活」

学問と就職 ～あなたの国における大学の意義～

何気なく毎日を過ごしてしまっていないですか？せっかく大学生として生活出来ているのにそんなの勿体無い！しかし、何をすべきなのかいざ問われると理想と現実の差にもどかしさを感じる事もあるでしょう。そこで私達のグループは、今社会は大学生に一体何を求めているのか、また私達自身が大学生活に求めているものは何であるのか、ということを経験比較をしながら和気藹々とディスカッションしていきます。

始めに、参加者それぞれがどのような基準で大学を選んだのか、お互いの現状について話してもらいます。その後、そもそも学歴はどのような場合において必要なのか、ということを経験しながら、大学生活のその先にある「就職」までの道筋を参加者全員が考え、共有していこうと思います。留学生から、各国における「大学生」というもののイメージや「留学した」ということが、どのように後の人生に関わってくるのか聞いてみたいとも考えています。

皆さんが思い描いている大学生活を一緒に形にしていきたいと思います！

#### B: 国際社会 : 「常識革命！」

真の国際人とは ～あなたはどのよう行動しますか？～

近年あらゆる分野において国際化が進み、私達の生活や生き方と密接に関連するようになってきています。そのような社会に生きるあなたは、「国際人」ですか？本ディスカッションは、皆さん自身が国際化を意識して行動していくきっかけになるはずで、世界の中に生きる一人としてあなたが何を求められているのかを知り、国際化しつつある社会で自分がどのように考え、生きていくのかについて話し合います。それらを通して、自分にとっての「真の国際人」とはいかなるものか、共に考えましょう。

まず、国際化に対するイメージを出し合い、国際化の様々な側面を共有します。次に、他の国の人から見た自国のイメージを知り、異なる視点から現状を再認識し、自国に対する理解を深めてもらいます。そして、国際化があなたと自国にもたらす影響をメリット・デメリットに分けながら明らかにします。最後に「真の国際人」とは何か、また今自分が「真の国際人」としてできる事は何かを考えていきましょう。

### C: 人生設計：「夢を語るって、かつこいい」

ライフスタイル ～納得できる人生を送るためのライフプランとは～

みなさんはこれまで自分の人生設計について考えたことがありますか？夢がはっきりしている人も将来像がぼんやりしている人も、目標をかなえるためにはプロセスが重要になってきます。このグループでは、参加者のみなさんに自分の将来に対する気持ちを自分の言葉で表現してもらうことで、それぞれの夢が実現可能となるようなディスカッションにしていきます。はじめに、トピックをもとに自由に人生設計をしてもらいます。例えば、「夢」というトピックに対して、あなたの夢はどのようなものなのか、そしてその夢を叶えるためには何が必要かについて、書いてもらいます。また、「結婚」「夢へのプロセス」についても書いてもらい、人生設計へのイメージを膨らませていきます。そしてお互いの夢を尊重しあいながら、トピックごとに意見交換を行い、自分の置かれている状況について明らかにしていきます。終盤では、それまでの話を踏まえ、今から取り組めることを考え、みんなにとって夢に近付ける機会となるようにしていきましょう。自分の夢を話すあなた、そして他の人の夢を聞くあなた。わくわくしませんか。

人は夢を語る時、とても輝いている気がします。さあ夢を語ってさらに輝こう！

### D: 文化・社会：「国際化の波に押し流されていませんか」

日本社会と外国人 ～国際社会で共に歩むとは～

日々、国際化が進んでいる日本社会。「国際化」と聞くと、一見かつこよく聞こえるかもしれませんが、実際に、異なる文化、価値観、生き立ちなど様々なバックグラウンドを持った人々が、「日本」という同じ社会で生きるとは一体どのようなことなのでしょう？きっと今まで気づけなかった、自分たちに特有の文化や感覚が、お互いに見えてくると思います。例えばパーソナルスペース。初対面の外国人が自分に近づきすぎて、思わず「近い」と感じたことはありませんか？あるいは、外国人の友達と自分との間に「心の距離」を感じたことはありませんか？それから、日本社会でよく使われるお世辞。日本社会で共に生きていくためには、外国人もお世辞を使う必要があるのでしょうか？このような感じ方の違いを知らなかったがために、不愉快な思いをしてしまい、せっかく築いた関係が悪くなってしまうのはもったいないと思います。まずは自分たちが他の国の人にどう思われているかを知り、そのうえで日本人、外国人がお互いにお互いの価値観や文化を知ることによって、より良い共生の形が実現できるように一緒に討論していきましょう！

## E: コミュニケーション：「そろそろやめない？心の鎖国」

異文化の人々との出会い ～自分の中で変わるもの～

今、地球の反対側に住む人があなたの目の前に現れました。そのとき、あなたはその人にまず何と話しかけますか？その人と何かを分かりあえる自信はありますか？それどころか何もせぬまま身を引いてしまうのでしょうか？

生まれた国、育った環境、受けてきた教育、文化や価値観が全く異なる人とのコミュニケーション。そこから何が得られるのか、自国の人の場合との違い、国ごと地域ごとの性格や特色について、皆さんの今までの体験談をふまえつつ議論していきたいと思います。

また、そのような国際交流を通して友達ができたとしみましょう。では次に、そのような文化的背景が全く異なる人と、さらに心から分かり合える関係、例えば親友や恋人になることは可能だと思いますか？そこにある壁、それを乗り越えるためにはどうすればいいのか、皆さんの意見や体験談を聞かせて下さい。

世界中の誰とでも簡単に会話や文章のやりとりができるようになってきた現代。本当のコミュニケーションとは何かを改めて考え、そこから円滑なコミュニケーションの秘訣を一緒に探りましょう！

## F: エコロジー：「人間のエゴと動物」

動物保護 ～動物と共に生きるとは～

地球には人間と動物が共生しています。しかし、人は欲望を満たすために動物を利用します。一度、人間と動物の関係について文化を超えて話してみませんか？私たち動物保護のグループは主に3つのサブテーマ、『動物とファッション』『動物と科学』『動物と文化』について話し合います。

《内容》

- ・ファッションとは何ですか？動物の毛皮などを使っておしゃれって言えますか？
- ・薬、商品の開発のために使われる動物がいます。人間の健康、技術開発のために動物を犠牲にできますか？
- ・人間の歴史は何千年も続いています。その中で生まれた文化は尊いものです。動物を使った（儀式や伝統）も存在します。文化か動物、どちらを守りますか？
- ・人間は動物だけではなく植物、菌を含めた生物も利用して生きています・・・。動物や他の生き物はあなたにとってどんな存在ですか？友達？家族？生態系の一部ですか？

### 3.3 アンケート結果抜粋

#### 3.3.1 参加人数（参加者 35 名 回答者 33 名 未回答者 2 名）

	日本人学生	留学生	計
A: 大学	3 名	2 名	5 名
B: 国際社会	5 名	1 名	6 名
C: 人生設計	4 名	2 名	6 名
D: 文化・社会	3 名	3 名	6 名
E: コミュニケーション	4 名	2 名	6 名
F: エコロジー	2 名	2 名	4 名
総計	21 名	12 名	33 名

※実行委員を除く

#### 3.3.2 参加理由

留学生・日本人と交流したかったから	25 名 (76%)
友達を作りたいかったから	13 名 (39%)
ディスカッションテーマに興味があったから	11 名 (33%)
視野を広げたいかったから	19 名 (58%)
日本語・英語を使いたかったから	15 名 (45%)

※複数回答可

等

#### 3.3.3 参加者感想

- ・楽しかったです。有難うございました。
- ・とても有意義なイベントだと思うので、続けてほしいと思います。
- ・こんな機会がなかなかなくて、楽しかったです。もっとこのような機会を設けてほしい。機会があればまた参加したいと思います。有難うございます。
- ・The IF@N event was fun and educational.
- ・本日一日楽しかったです。お疲れ様でした。たくさんの友達を作れて本当によかったと思います。これからも皆さんの力で IF@N をやってください。
- ・一人で参加しても楽しめるようになっていて、とてもよかったです。ディスカッションのメンバーに留学生がいたのがすごく盛り上がった理由の一つだと思いました。

### 3.4 ミーティング記録

回	日時	場所	内容
1	2011. 8. 4(木) 10:00~12:00	文系総合館 412/413 演習室	1. 顔合わせ(自己紹介、icebreaking) 2. 趣旨説明 3. スケジュールの確認、連絡リスト作成
2	2011. 8. 24(水) 10:00~12:00	文系総合館 412/413 演習室	1. 実行委員リーダー、サブリーダーの決定 2. 全体テーマ、ディスカッションテーマ検討 3. ポスター作成者決定
3	2011. 9. 6(火) 16:00~18:00	文系総合館 412/413 演習室	1. ディスカッションテーマと担当者の決定 2. 当日タイムラインについて 3. 実行委員の共同作業(コラージュ作成)について
4	2011. 9. 12(月) 10:00~12:00	文系総合館 412/413 演習室	1. 使用言語について 2. IF@N のコンセプトについて 3. 参加者申し込み担当者決定
5	2011. 9. 22(木) 10:00~12:00	中央図書館 4 階 グループ研究室 1	1. 全体テーマ決定 2. 班分け(広報、レク、ディスカッションまとめ)
6	2011. 9. 27(火) 13:30~15:30	中央図書館 4 階 グループ研究室 1	1. 各係の企画の具体化 2. 当日タイムライン確定
7	2011. 10. 4(火) 11:00~13:00	中央図書館 4 階 グループ研究室 1	広報について (ポスター貼り、ビラ配り、HP 等)
8	2011. 10. 11(火) 11:00~13:00	中央図書館 3 階 グループ研究室 3	1. 各ディスカッショングループ企画書説明 2. 各ディスカッショングループイントロ作成
9	2011. 10. 21(金) 11:00~13:00	中央図書館 3 階 グループ研究室 3	1. 当日係の決定(受付、備品、冊子作成等) 2. 部屋割の決定

			3. 当日進行表作成
10	2011. 10. 25(火) 11:00~13:00	中央図書館 3 階 グループ研究室 3	1. 各班、係の進捗確認 2. 先生方よりファシリテーション Tips 講座
11	2011. 10. 28(金) 11:00~13:00	中央図書館 3 階 グループ学習室 2	1. 参加者ディスカッショングループ 決定 2. リハーサル実施時間決定、内容確認
12	2011. 11. 1(火) 11:00~13:00	中央図書館 3 階 グループ研究室 2	1. 当日の流れ確認、役割分担の未定部 分の決定 2. 各班、係の進捗確認
13	2011. 11. 4(金) 11:00~13:00	中央図書館 3 階 グループ研究室 2	1. 当日配布用冊子の校正 2. リハーサルのタイムライン決定
14	2011. 11. 7(月) 9:00~14:00	文系総合館 7 階 カンファレンスホ ール	1. リハーサル 2. 下準備(物品買い出し、当日資料印 刷作業等)
15	2011. 11. 11(金) 16:00~18:00	文系総合館 7 階 カンファレンスホ ール	物品の搬入
2011. 11. 12(土) 本番!			
16	2011. 11. 22(火) 11:00~13:00	中央図書館 4 階 グループ研究室 1	今後するべき作業の洗い出し 報告書のコンテンツ確定
17	2011. 12. 1(木) 11:30~13:00	中央図書館 4 階 グループ研究室 1	IF@N 全体の振り返り 今後への引き継ぎ方の検討
18	2011. 12. 14(水) 11:30~13:00	中央図書館 4 階 グループ研究室 1	IF@N 全体の振り返り 報告書の校正内容確認
19	2012. 1. 19(木) 11:30~13:00	IB 館 7 階 田所先生研究室	報告書最終校正
20	2012. 2. 11(土)	打ち上げ会場	IF@N 振り返り 打ち上げ!!!!

#### 4. 今後に向けての課題

- ・よりアカデミックなディスカッションができる場も提供したいという意見もある一方、自身の経験や感覚などに基づく話の方が話しやすく、面白いという意見もあった。どちらにも対応して、テーマを提供できるようにする必要がある。
- ・日本語と英語を使い分けて討論するのが難しかった。日本語と英語を両方使いながら、上手く議論する方法は、他にないだろうか？ファシリテーターを含め、参加者が自分の意見を述べやすいテーマ決めが必要。
- ・実行委員の中で IF@N に対する意識を共有すべきだった。IF@N のコンセプトは「出会う、繋がる、広がる」であるが、目的が深くディスカッションするためなのか、異文化交流するためのものなのか、皆の中であいまいだった。ディスカッションの中身よりも他の仕事に時間と労力を割いてしまった。
- ・ミーティングで皆がそろふことが少なかったので、情報の共有やコミュニケーションを取るのが難しかった。MT の時間帯や方法などを再検討するべき。
- ・IF@N を 1 年に 1 回だけのイベントで終わらせるのはもったいない。  
“プチ IF@N” 的な定期的な集まり（ある話題についてディスカッションする勉強会等）をつくって、前の代の実行委員と次の代の実行委員の重なりがあるといいのでは…。引き継ぎの機会も設けるべきだと思う。

#### 5. 実行委員感想

IF@N（名古屋大学国際学生フォーラム）は昨年に引き続き二回目の開催となりました。様々な文化・背景を持った人々と直接意見交換をしたり、経験を伝えあったりする事で一步進んだ国際理解・国際交流を目指すという思いと、「出会う、繋がる、広がる」というコンセプトを、第一回 IF@N から受け継ぎながら、より良いフォーラムにする為に、今回は種々の取り組みを行いました。例えば、ディスカッションの時間を延ばし、ディスカッションのまとめの発表では他のグループの人とも交流できる時間を設けました。また昼御飯会、レセプションを行った事により、交流の機会はさらに増えました。

第二回 IF@N のメインテーマは「共生/living together」でした。様々な文化、背景を持った人々と一つの地球の上で「共生」という事はどういう事なのか考えたい、そのように実行委員一同で考え、参加者の皆さんと話し合う事ができました。引き続き第三回 IF@N が開催され、より良いフォーラムになっていく事を心より願っています。

～ ALBUM ～



Ice breaking

ディスカッション！！



お昼ごはん、雰囲気も和  
んできました♪



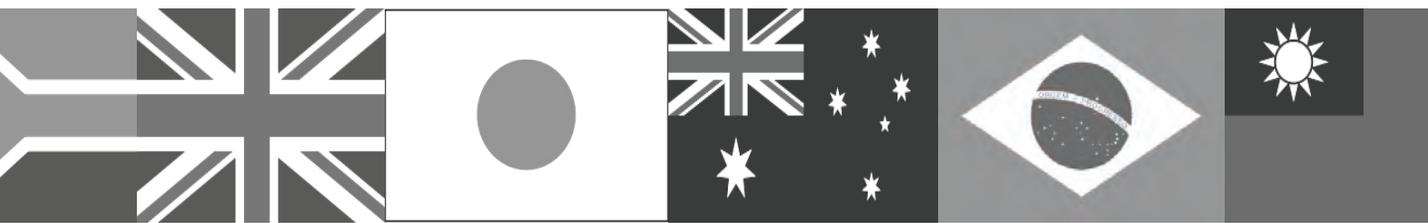
自分のディスカッショングル  
ープで話し合った事を、他のグル  
ープの人と共有しました！



今年は懇親会も行いました！  
ビンゴも盛り上がりました♪







スモールワールド・コーヒーアワー  
Small World Coffee Hour

ヘルプデスク

Help Desk

ランゲージシャワー

Language Shower

異文化交流サークルACE

Action Group for Cross-Cultural Exchange

留学のとびら

Gateway to Overseas Studies

NUFSA

Nagoya University Foreign Students Association

IF@N

The International Forum at Nagoya University

